

2016年度第2四半期 決算ハイライト

2016年11月14日

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

<本資料における計数の定義>

連結	: 三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
2行合算	: 三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算

目次

・2016年度第2四半期業績の概要	3
・損益サマリー	4
・親会社株主純利益の概要	5
・事業本部別業績概要	6
・B/Sサマリー	7
・貸出金・預金	8
・国内預貸金利回り	9
・貸出資産の状況	10
・保有有価証券の状況	11
・自己資本の状況	12
・2016年度業績目標	13
・配当金予想	14
・自己株式の取得	15

2016年度第2四半期業績の概要

【連結】

親会社株主中間純利益*1 4,905億円

- 前年同期比1,087億円減益
- 通期業績目標8,500億円に対する進捗率は57.7%

普通株式等Tier1比率(完全実施)

- 引き続き、十分な水準を確保

株主還元

- 1株当たり年間配当予想は18円を据置き
- 総額1,000億円を上限とする自己株式取得を決議

〈連結業績〉

(単位:億円)

	15年上期	16年上期	増減
1 業務粗利益	21,091	19,694	▲ 1,397
2 営業費(▲)	12,889	12,440	▲ 449
3 業務純益	8,202	7,254	▲ 948
4 親会社株主中間純利益*1	5,993	4,905	▲ 1,087
5 普通株式1株当たり配当(円)	9.00	9.00	0.00

〈中期経営計画 財務目標〉

(単位:円)

	15年上期	16年上期	17年度目標 (中計)
6 1株当たり利益(EPS)	42.97	35.93	14年度比 +15%以上
7 ROE*2	9.59%	7.91%	8%台後半
8 経費率	61.1%	63.1%	60%程度
9 普通株式等Tier1比率(完全実施)*3	12.0%	12.5%	9.5%以上

*1 親会社株主に帰属する中間純利益

*2 $\frac{\text{親会社株主中間純利益} \times 2}{\{(\text{期首株主資本合計} + \text{期首為替換算調整勘定}) + (\text{期末株主資本合計} + \text{期末為替換算調整勘定})\}} \times 100$

*3 19年3月末に適用される規制に基づく試算値

業務純益

- 業務粗利益は海外の預貸金・手数料収益、及び債券関係損益が増加も、金利低下を受けた国内預貸金収益減と運用商品販売減少に円高影響が加わり減少
- 営業費は為替影響もあり減少
- 業務純益は948億円減少の7,254億円

与信関係費用総額*1

- 費用増加も、期初想定を下回る576億円

株式等関係損益

- 政策保有株式の売却進捗により株式等売却損益が増加

持分法による投資損益

- 為替影響もあり、モルガン・スタンレーの利益貢献が減少

親会社株主中間純利益

- 以上の結果、1,087億円減益の4,905億円

〈連結P/L〉 (単位:億円)

	15年上期	16年上期	増減
1 業務粗利益(信託勘定償却前)	21,091	19,694	▲ 1,397
2 資金利益	10,763	9,750	▲ 1,012
3 信託報酬+役務取引等利益	7,001	6,826	▲ 174
4 特定取引利益+その他業務利益	3,326	3,116	▲ 210
5 うち国債等債券関係損益	821	926	105
6 営業費(▲)	12,889	12,440	▲ 449
7 業務純益	8,202	7,254	▲ 948
8 与信関係費用総額*1	▲ 310	▲ 576	▲ 266
9 株式等関係損益	409	440	30
10 株式等売却損益	490	554	63
11 株式等償却	▲ 81	▲ 114	▲ 33
12 持分法による投資損益	1,446	1,139	▲ 307
13 その他の臨時損益	▲ 49	▲ 308	▲ 259
14 経常利益	9,699	7,948	▲ 1,750
15 特別損益	▲ 431	▲ 564	▲ 132
16 法人税等合計	▲ 2,589	▲ 1,784	804
17 親会社株主中間純利益	5,993	4,905	▲ 1,087
18 1株当たり利益(円)	42.97	35.93	▲ 7.04

*1 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)+償却債権取立益

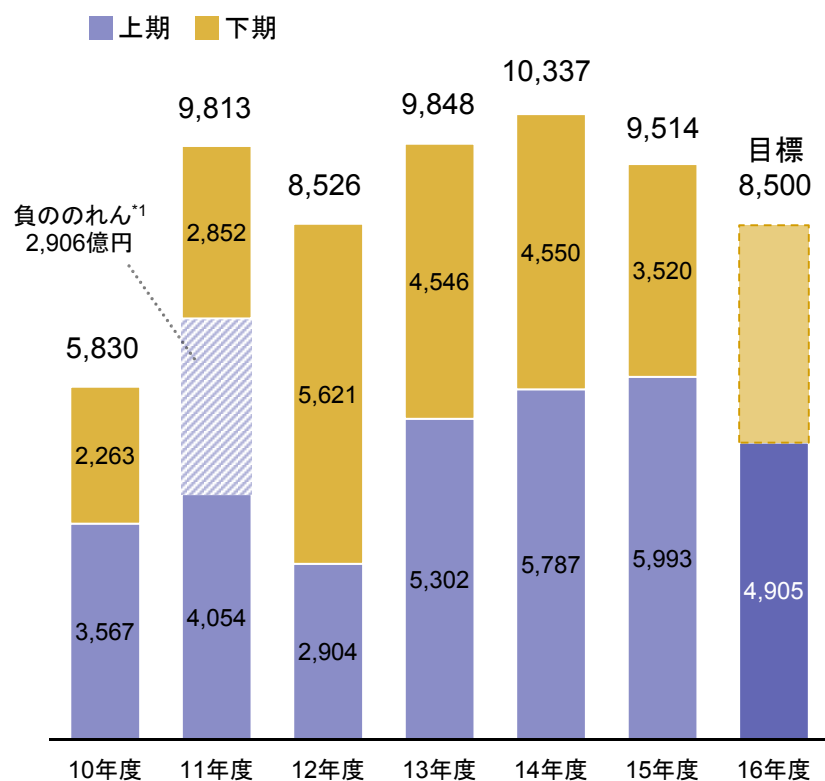
親会社株主純利益の概要

【連結】

- 親会社株主中間純利益は4,905億円、通期業績目標に対する進捗率は57.7%

親会社株主純利益の推移

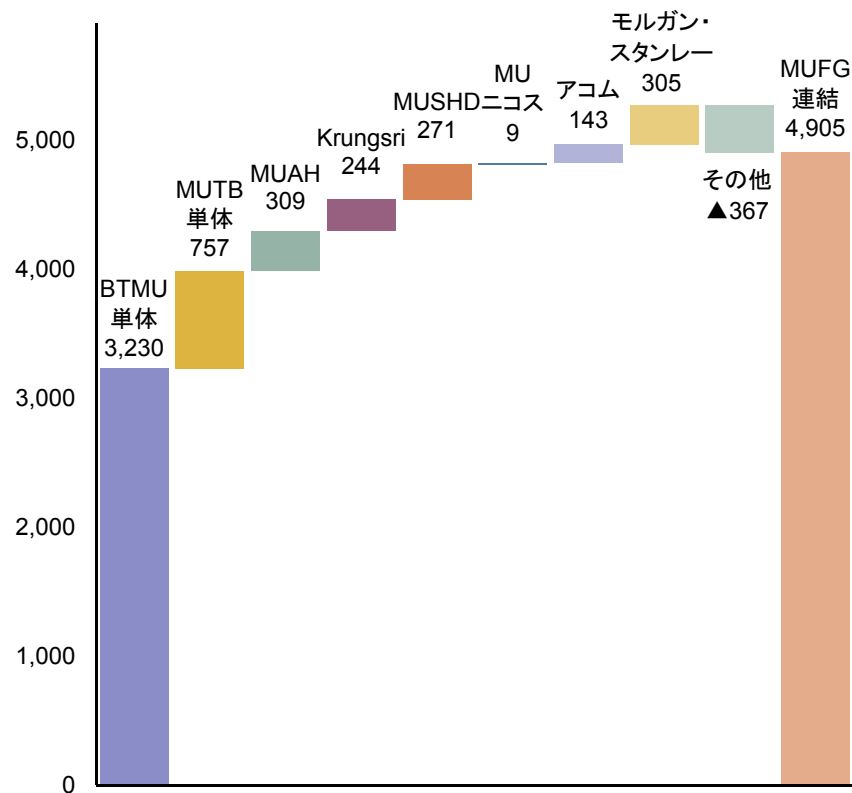
(億円)



*1 モルガン・スタンレーの持分法適用関連会社化に伴う負ののれん

親会社株主中間純利益内訳*2

(億円)



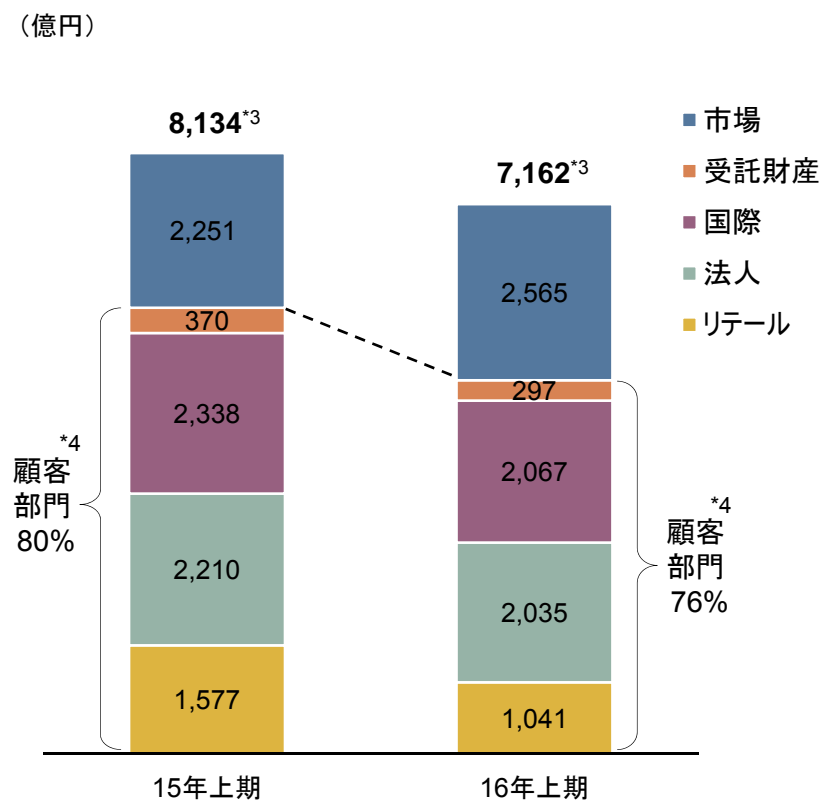
*2 持分比率勘案後の実績

事業本部別業績概要

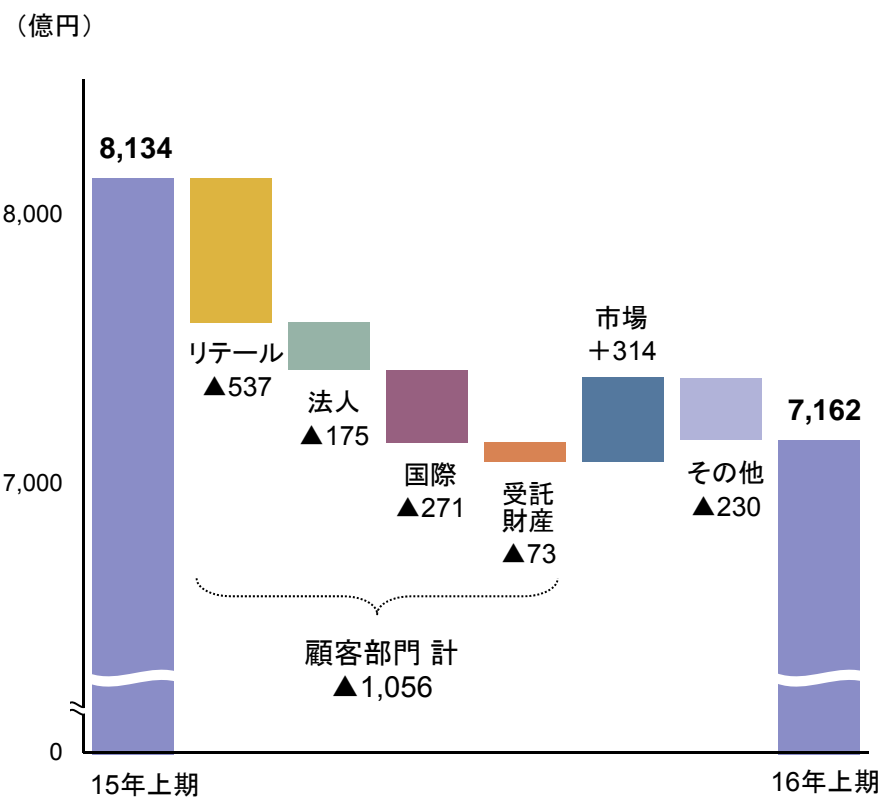
【連結】

- MUFG連結営業純益は972億円減少(うち、700億円弱は国際事業本部を中心とした円高影響)
- 営業純益に占める顧客部門の割合は76%。そのうち、海外対顧収益比率*1は38%

事業本部別営業純益*2



営業純益増減内訳



*1 海外対顧収益比率=国際÷顧客部門営業純益

*2 管理ベースの連結業務純益、法人は海外の日系取引を除く

*3 本部・その他(15年上期 ▲612、16年上期▲842)を含む

*4 顧客部門の割合=営業純益全体(*3)に占める顧客部門営業純益の割合

貸出金(銀行勘定+信託勘定)

- 政府等向け貸出の減少、為替影響による国内外の外貨建貸出減少を主因に16年3月末比減少

有価証券

- 国内株式、国債、外国債券はいずれも減少

預金

- 為替影響により海外預金が減少も、国内預金が増加し預金残高は増加

開示債権

- 開示債権、総与信ともに減少し開示債権比率は略不変

その他有価証券評価益

- 外国債券の評価益が増加した一方、国内株式の評価益が減少し16年3月末比微減

〈連結B/S〉 (単位:億円)

	16年9月末	16年3月末比
1 資産の部合計	2,936,771	▲46,257
2 貸出金(銀行勘定+信託勘定)	1,050,177	▲88,891
3 貸出金(銀行勘定)	1,048,448	▲89,114
4 うち住宅ローン ^{*1}	156,379	671
5 うち国内法人貸出 ^{*1*2}	434,044	▲4,000
6 うち海外貸出 ^{*3}	389,952	▲40,502
7 有価証券(銀行勘定)	649,084	▲50,854
8 うち国内株式	53,257	▲2,477
9 うち国債	255,158	▲28,412
10 うち外国債券	257,728	▲21,108
11 負債の部合計	2,771,756	▲37,405
12 預金	1,616,250	6,599
13 うち個人預金(国内店)	712,682	1,995
14 純資産の部合計	165,015	▲8,852
15 金融再生法開示債権 ^{*1}	12,135	▲934
16 開示債権比率 ^{*1}	1.18%	▲0.00%
17 その他有価証券評価損益	34,090	▲762

*1 2行合算+信託勘定

*2 政府等向け貸出除き

*3 海外支店+MUAH+Krungsri+BTMU(中国)+BTMU(マレーシア)
+MUFGバンク(ヨーロッパ)

貸出金残高105.0兆円
(16年3月末比▲8.8兆円)

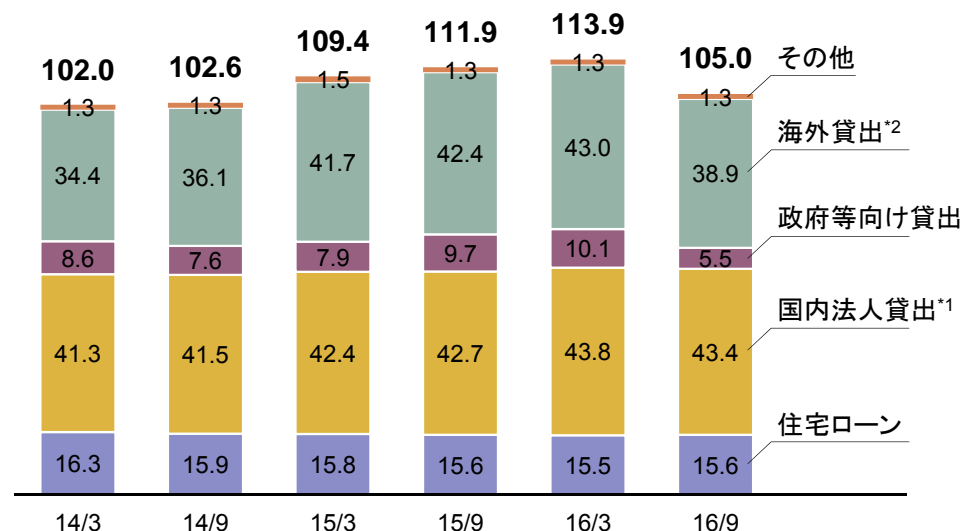
<16年3月末比増減の主要因>

- 住宅ローン +0.0兆円
- 国内法人貸出^{*1} ▲0.4兆円
(除く為替影響) (+0.3兆円)
- 政府等向け貸出 ▲4.5兆円
- 海外貸出^{*2} ▲4.0兆円
(除く為替影響) (+1.5兆円)

*1 政府等向け貸出を除く、外貨建貸出を含む

*2 海外支店+MUAH+Krungsri+BTMU(中国)+BTMU(マレーシア)+MUFGバンク(ヨーロッパ)

(兆円) 【貸出金(末残)^{*3}】



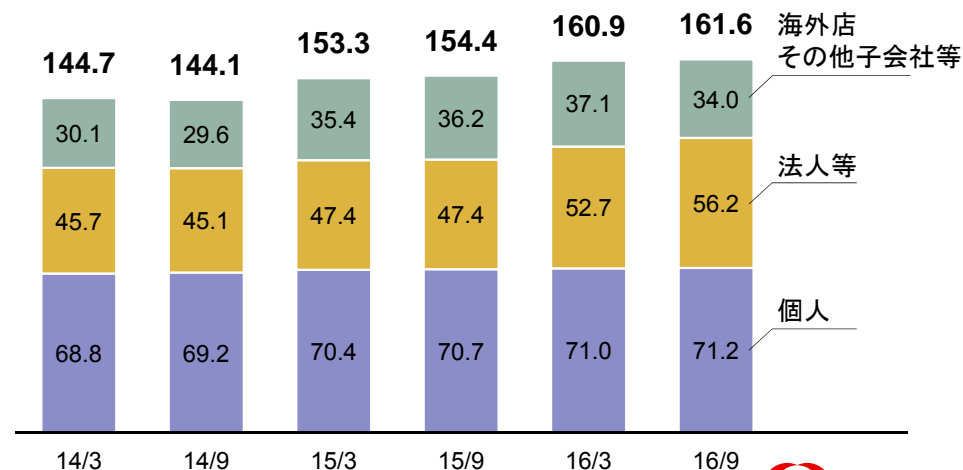
*3 銀行勘定+信託勘定

預金残高161.6兆円
(16年3月末比+0.6兆円)

<16年3月末比増減の主要因>

- 個人預金 +0.1兆円
- 法人等預金 +3.5兆円
- 海外店その他 ▲3.0兆円
(除く為替影響) (+2.6兆円)

(兆円) 【預金(末残)】

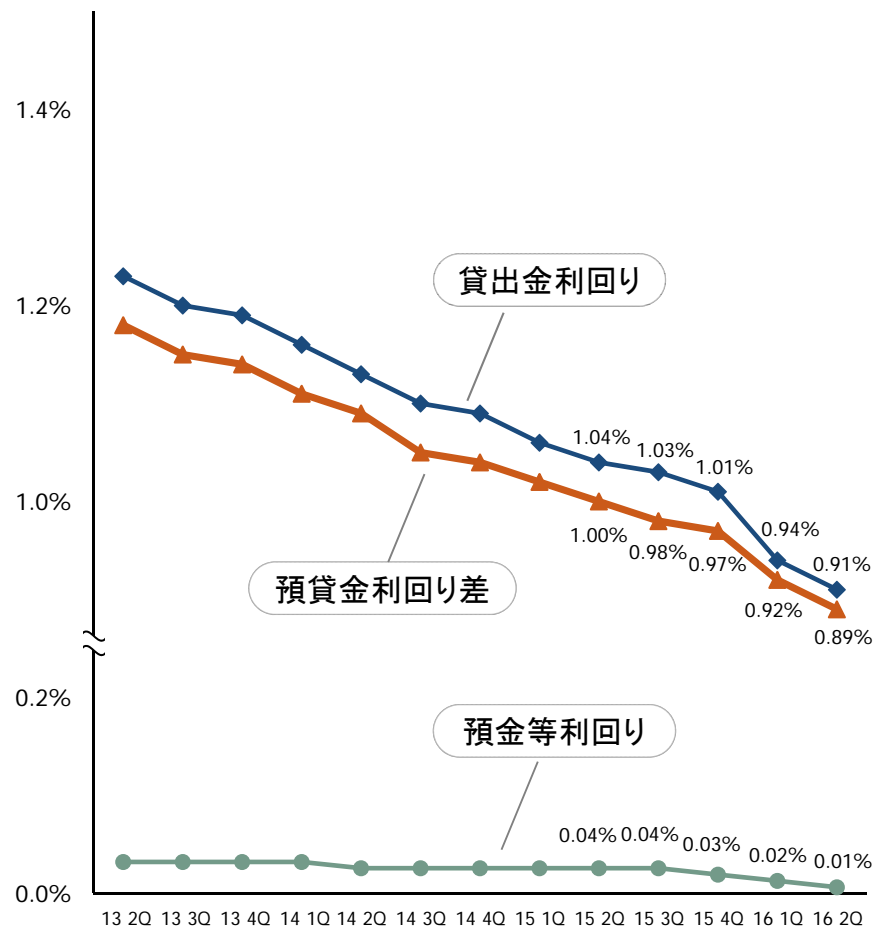


国内預貸金利回り

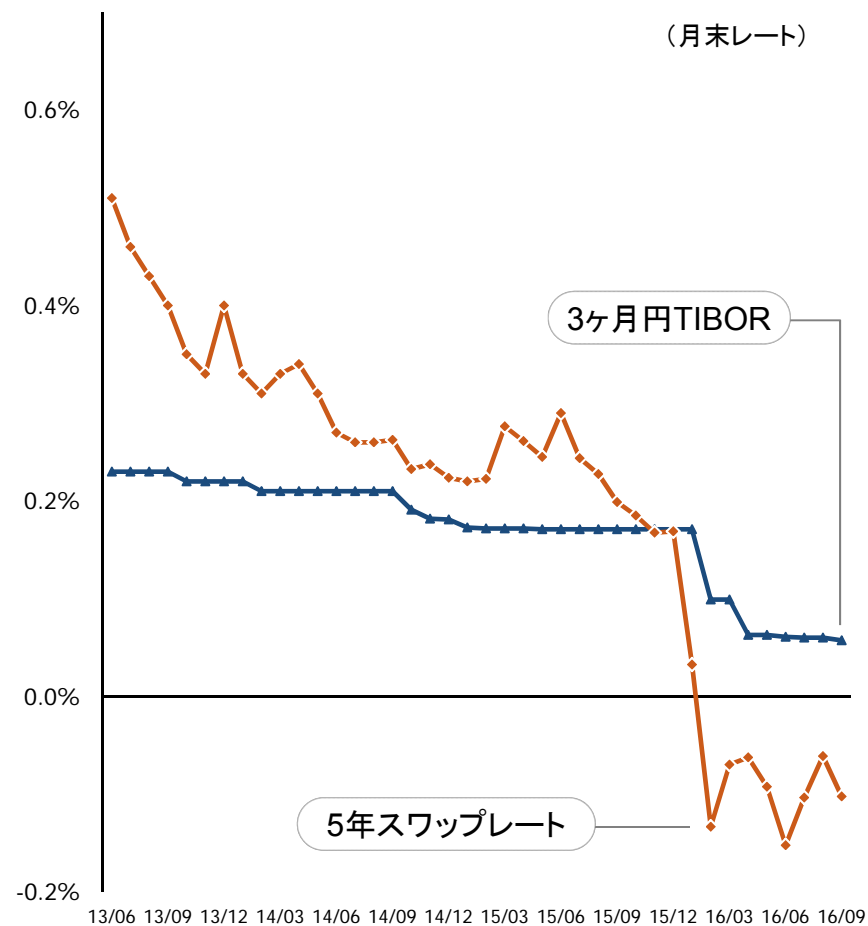
【2行合算】

- 16年度2Qの国内預貸金利回り差(政府等向け貸出除き)は、市場金利低下の影響を受けた貸出金利回りの低下により、16年度1Q比0.02%縮小

国内預貸金利回りの推移(政府等向け貸出除き)



(ご参考)市場金利の推移



(出典: Bloomberg)

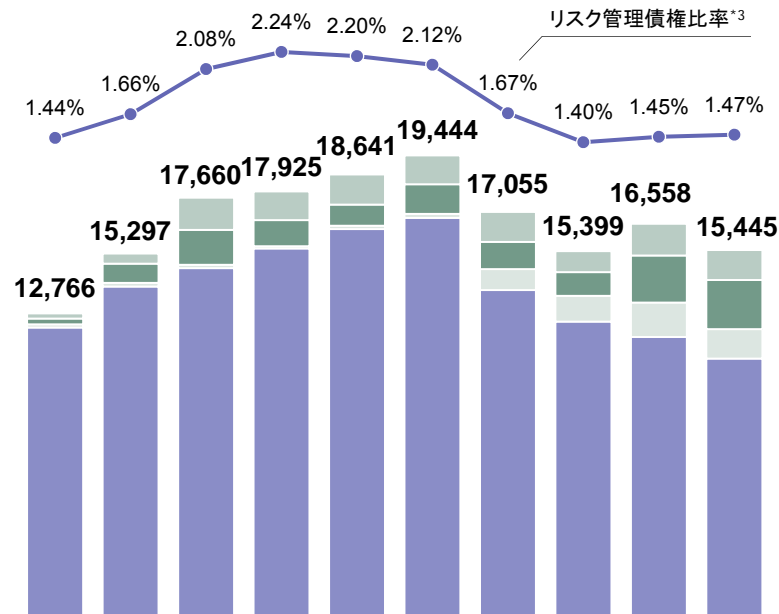
貸出資産の状況

【連結】

- リスク管理債権比率は16年3月末比0.01%上昇し1.47%
- 与信関係費用総額は576億円の費用計上（2行合算は29億円の費用計上）

リスク管理債権合計*1

(億円)

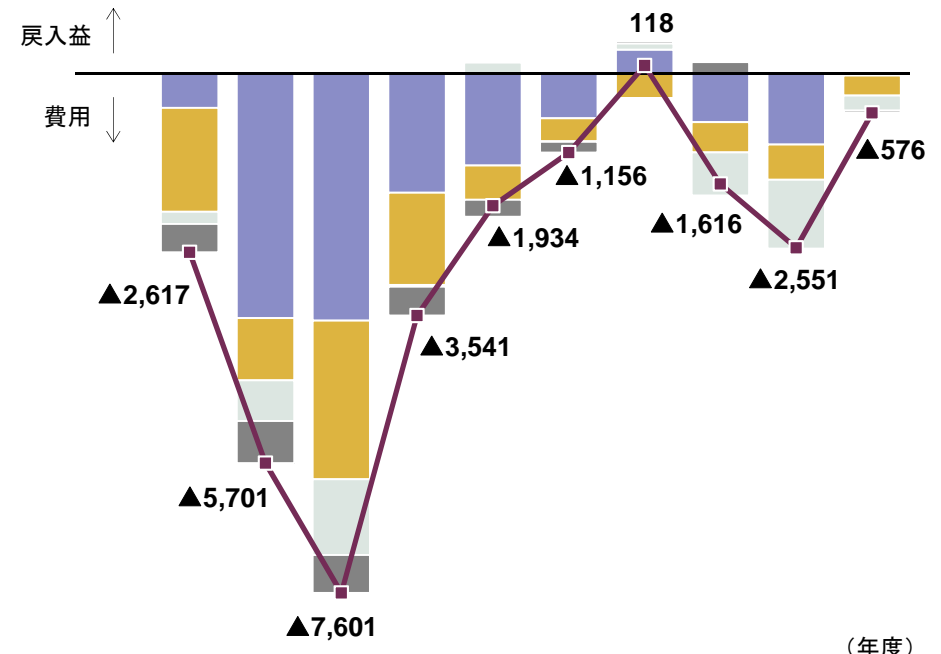


[内訳]	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	16/9
EMEA ^{*2}	212	426	1,363	1,212	1,272	1,220	1,263	882	1,339	1,267
米州 ^{*2}	248	812	1,473	1,103	892	1,250	1,149	1,007	1,994	2,074
アジア	131	154	144	94	144	170	890	1,088	1,453	1,245
国内	12,173	13,905	14,679	15,515	16,332	16,803	13,752	12,420	11,771	10,859

*1 銀行法に基づくリスク管理債権、地域は債務者の所在地による区分
 *2 EMEA(欧州、中近東他)、米州の12/3期以前は、その他、アメリカとして開示した計数を表示
 *3 リスク管理債権合計÷貸出金残高(銀行勘定、未残)

与信関係費用総額

(億円)



[内訳]	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16/上
2行合算	▲501	▲3,578	▲3,616	▲1,742	▲1,345	▲653	351	▲711	▲1,037	▲29
CF ^{*4}	▲1,521	▲910	▲2,322	▲1,350	▲501	▲337	▲357	▲441	▲516	▲292
海外 ^{*5}	▲178	▲597	▲1,106	▲27	161	▲8	92	▲632	▲1,008	▲221
その他 ^{*6}	▲415	▲615	▲557	▲421	▲249	▲156	32	169	10	▲31

*4 MUニコスとアコムの子会社ベース合算 *5 BTMU、MUTB海外連結子会社の合算
 *6 その他子会社および連結調整等

保有有価証券の状況

【連結・2行合算】

その他有価証券(時価あり)の内訳

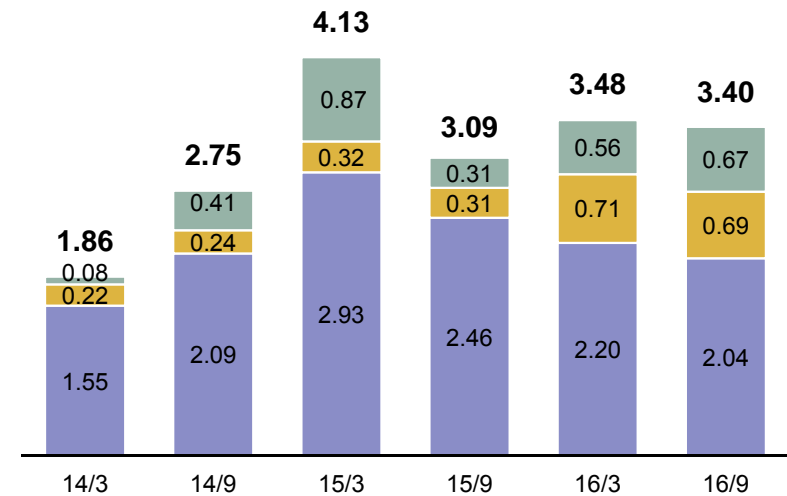
(億円)

	16年9月末残高		評価損益	
	16/3末比	16/3末比	16/3末比	16/3末比
1 合計	607,617	▲47,567	34,090	▲762
2 国内株式	46,249	▲2,482	20,425	▲1,628
3 国内債券	280,551	▲22,673	6,951	▲231
4 国債	244,148	▲28,411	6,120	▲198
5 その他	280,816	▲22,410	6,713	1,096
6 外国株式	1,445	▲45	176	▲61
7 外国債券	247,096	▲19,408	6,176	1,066
8 その他	32,275	▲2,957	360	92

その他有価証券評価損益の推移

(兆円)

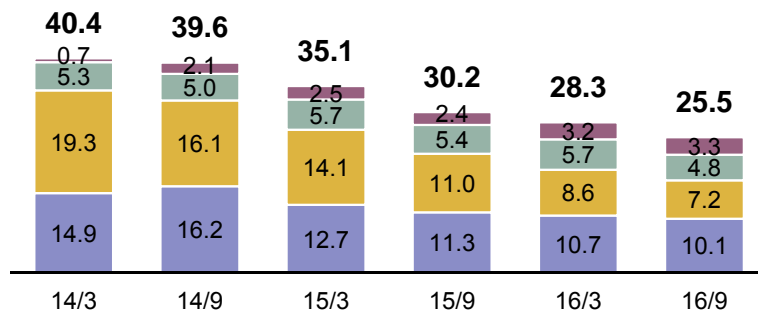
■ 国内株式 ■ 国内債券 ■ その他



国債の残存期間別残高(2行合算)*1

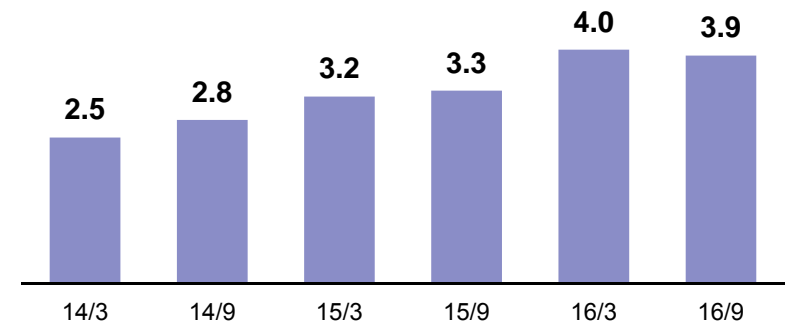
(兆円)

■ 1年以内 ■ 1年超5年 ■ 5年超10年 ■ 10年超



デュレーション(国債のみ・2行合算)*2

(年)



*1 その他有価証券および満期保有目的の国債

*2 その他有価証券

(単位:億円)

自己資本額

- 利益剰余金増加の一方、為替換算調整勘定の減少や優先出資証券・劣後債務の償還を主因として、総自己資本は5,174億円減少
- 普通株式等Tier1資本は2,004億円減少

リスクアセット

- 円高影響を中心とした信用リスクの減少を主因として、6兆8,581億円減少

普通株式等Tier1比率

- 完全実施ベース^{*1} : 12.5%
- 同上(有価証券含み益除き) : 10.1%

レバレッジ比率

- 段階実施ベース : 4.74%

	16年3月末	16年9月末	16年3月末比
1 普通株式等Tier1比率	11.63%	12.20%	0.56%
2 Tier1比率	13.24%	13.50%	0.26%
3 総自己資本比率	16.01%	16.56%	0.55%
4 普通株式等Tier1資本	130,398	128,394	▲2,004
5 うち利益剰余金	85,875	89,650	3,774
6 うちその他の包括利益累計額	21,612	16,956	▲4,656
7 うち調整項目の額(のれん等)	▲11,004	▲10,940	64
8 その他Tier1資本	17,994	13,660	▲4,333
9 うち優先出資証券・劣後債務	15,445	13,875	▲1,569
10 うち為替換算調整勘定	3,165	36	▲3,129
11 Tier1資本	148,392	142,055	▲6,337
12 Tier2資本	31,025	32,188	1,163
13 うち劣後債務	20,605	21,979	1,373
14 うちその他有価証券含み益	6,338	6,219	▲118
15 総自己資本(Tier1+Tier2)	179,418	174,243	▲5,174
16 リスクアセット	1,120,643	1,052,062	▲68,581
17 信用リスク	953,723	882,992	▲70,730
18 マーケットリスク	21,987	18,989	▲2,997
19 オペレーショナルリスク	65,811	69,342	3,531
20 フロア調整	79,121	80,737	1,615

*1 19年3月末に適用される規制に基づく試算値

2016年度業績目標

【連結・単体】

- 2016年度の親会社株主純利益目標は8,500億円を据置き

(単位:億円)

〈連結〉	2015年度		2016年度		年度初設定比
	中間期 (実績)	通期 (実績)	中間期 (実績)	通期	
1 与信関係費用総額	▲ 310	▲ 2,551	▲ 576	▲ 1,500	+600
2 経常利益	9,699	15,394	7,948	13,200	-
3 親会社株主純利益	5,993	9,514	4,905	8,500	-

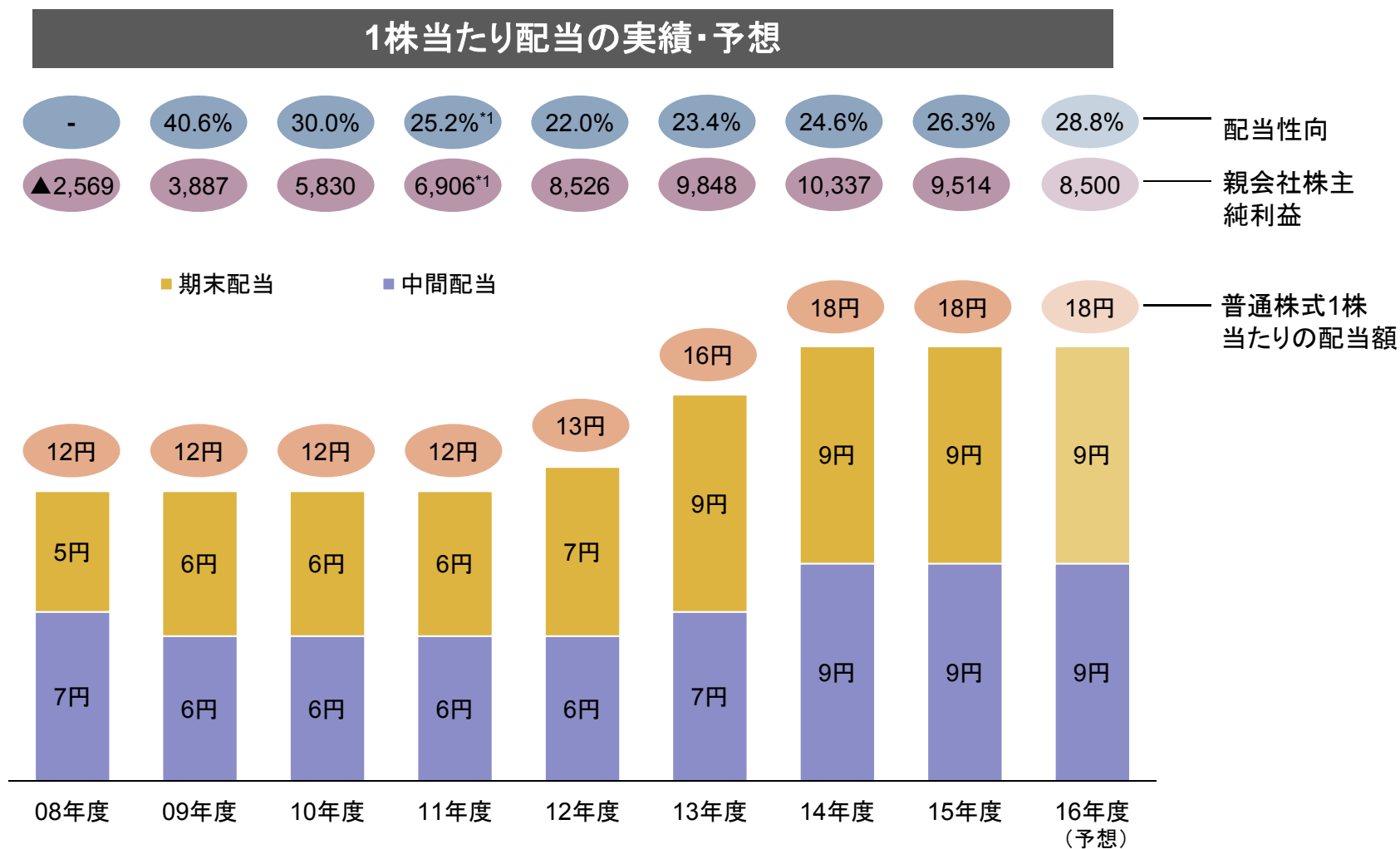
〈三菱東京UFJ銀行単体〉

4 業務純益 一般貸倒引当金繰入前	4,804	8,881	4,170	7,000	+300
5 与信関係費用総額	212	▲ 1,034	▲ 47	▲ 300	+100
6 経常利益	5,383	8,637	4,102	6,700	+700
7 当期純利益	3,796	5,860	3,230	4,900	+600

〈三菱UFJ信託銀行単体〉

8 業務純益 一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前	956	1,930	927	1,700	-
9 与信関係費用総額	13	▲ 2	17	▲ 50	+50
10 経常利益	995	2,065	1,055	1,800	+150
11 当期純利益	703	1,599	757	1,300	+100

- 2016年度の普通株式1株当たりの中間配当は9円、年間配当予想18円を据置き



*1 11年度はモルガン・スタンレーの持分法適用関連会社化に伴う負ののれんを除く

- 株主還元の充実、資本効率の向上および機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式を取得することを決議

自己株式取得の概要

取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	2億3,000万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合:1.69%)
取得価格の総額	1,000億円(上限)
取得期間	2016年11月15日～2016年12月31日

(ご参考)2016年10月31日時点の自己株式の保有

発行済株式総数(自己株式を除く) : 13,604,556,568株

自己株式数 : 564,297,252株